

ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動

IM第1組 ガバナー補佐 西宮 富夫

(箕面RC)

池田RC 「タイ子供達支援事業の長期継続」

2008年にタイ3330地区ナコンパトムロータリークラブと共同でタイの小学校に浄水器を1台寄付。翌年2009年、池田ロータリークラブ55周年事業として、マッチンググラントにより15台寄付。2010年、継続して浄水器3台寄付と小学校

のトイレの改修工事。2011年は小学校に図書への寄付。2012年は池田RC、60周年事業でグローバルグラントにて歯科治療機器を3台寄付。

5年間タイに継続して事業をおこなっております。



池田くれはRC 「社会奉仕・青少年奉仕共同事業」

11月24日(月)社会奉仕・青少年奉仕共同事業として、池田市母子寡婦福祉会の皆様を招き、USJで思う存分アトラクションを楽しみ交流を深めた。

今話題のハリーポッターのお城に入る頃には子供も大人も夢の世

界へ。湖に浮かぶレストランにて遅めのランチタイムを楽しみ、世界一と言われるクリスマスツリー・天使のくれた奇跡Ⅱ・パレードに大満足し帰路に。親子共々、米山奨学生、我々も明日への元気に満ち、童心に帰った日となった。



豊中RC 「出前授業とその新たな展開」

当クラブでは2001年より豊中市内の小・中学校を主要な対象として、会員がその専門あるいは特に興味を持つことを主題とする出前授業を行ってきた。その成果は、2660地区と当クラブホームページに公表している。

今後は、他の都市の学校にも対象を広げるとともに、教員免許を必要としない授業への協力・支援、生涯教育、会員の専門性を生かした公開フォーラムの開催、教育の世界への四つのテストの精神の普及などに展開する。



豊中千里RC 「カンボジア僻地における健康診断」

カンボジア僻地では適切な医療が受けられず苦しんでいる住民が多数存在し、現代医療が求められています。

現地住民に対し診療を行い、医薬品を配布すると共に現代医療の啓発を行うため、1年に2回、1回に

4日間、カンボジア僻地の公共性の高い場所で、医師・看護師・薬剤師による医療を行っています。

また、現地住民の健康状況の情報収集と問題点の把握に努め、今後の支援に役立てています。



豊中南RC 「子どもに夢と感動をプロジェクト」

豊中南ロータリークラブでは音楽を通しての青少年の育成、並びに、社会教育活動を支援することを目的として、豊中市に拠点を置く大阪音楽大学ご協力のもと「子どもに夢と感動をプロジェクト」事業を実施しています。

全国レベルに達した音楽活動を行っている学校が珍しくない豊中市。市の提唱する音楽を通じたまちづくり活動がさらに市域全体に広がるように、中古楽器を集めて教育現場に配分して役立てていただくという事業を行っています。



箕面RC 「大阪水上隣保館 遥学園支援活動」

児童福祉施設『社会福祉法人大阪水上隣保館 遥学園』への生活物資支援を実施しています。

1年間を通して衣服、おもちゃ等の物資を集め、届けています。今年度の地区補助金により、同施設にアルトサックス2本を寄贈しまし

た。公的支援が得られない衣食住以外の物資の寄付により、子供達のクラブ活動を充実させ、生きる喜びを見出してもらうのが目的です。「ロータリーの光」で、遥学園を少しでも明るくすることができました。



箕面千里中央RC 「フィリピン・ハンボンガン島小学校支援」

箕面千里中央ロータリークラブでは、フィリピンのハンボンガン島の小学校への支援を続けております。これまでに、コンクリートブロックの防潮塀や集会用野外ステージの建設並びに食料支援を行ってまいりました。

このプロジェクトは当クラブの奥井会員が以前より大阪府海外移住家族会の奉仕事業に関わられ、セブ島の学校関係者と親しくされていたことが発端となっております。本年度も会長はじめ3名の会員が1月に訪問を予定しております。



IM第2組 ガバナー補佐 簡 仁一

(茨木RC)

茨木RC 「子供たちとのふれあい・出前授業」

職業奉仕委員会の【出前授業】を市立畑田小5年生対象に行いました。テーマは「物流のしくみ」。

当日は、体育館で30分の講義の後、運動場で保冷車(3t)を使っての体験学習を行いました。実際に運転席やパワーゲートに乗るなど、

児童たちは大喜び。

質疑応答では、大人顔負けの専門的な質問がでるなど、児童たちの興味と好奇心は途切れることがありません。さわやかな秋晴れの下、とても思い出に残る授業になったと思います。



茨木東RC 「変わりゆくふるさと」

今年度会長のテーマ三共(共に生き、学び、行う)に沿って、東日本大震災の復興支援と慰霊の旅を実施しました。

当初支援の陸前高田市に赴き、震災ガイドの方の説明で、高台と海岸線から変わりゆく町(巨大なベ

ルトコンベアーによる嵩上げ工事等)を、心情込めて熱く語られる様子に多くの事を学びました。

さらに、友好クラブ盛岡西北RCと交流し、支援継続を協議できました。



茨木西RC 「バランスのとれた奉仕活動」

茨木西RCは創立21年、会員数若干26名の小クラブであります。親睦とバランスの良い奉仕活動を毎年心がけて参りました。

今年度、上半期で既に人道的国際奉仕(タイとカンボジア)、社会奉仕活動(特別支援学校援助と交

通標識設置)他、新たにロータリーデー(於茨木市市民祭り)を開催、ポリオ・プラスの広報と募金活動を実施致しました。下半期、当クラブはさらに奉仕活動を通じて親睦を深め、次世代へ引き継げるクラブ作りを目指して参ります。



千里RC 「2000回記念例会」

平成26年12月2日の例会が、我がクラブの2000回目の記念すべき例会になりました。この節目の例会をお祝いすべく、元RI理事の千玄室様を講師にお迎えし、「みんなで仲良く」と題してご講演を頂きました。また当日をロータリーデー

ーとして、来賓に泉ガバナー様始めパストガバナーの皆様、北摂12RC等の会長幹事様始めロータリー関係者の皆様その他、普段関係の深い団体等から幅広くお客様をお迎えし、ロータリーを知ってもらう機会となりました。



千里メイプルRC 「誇れるラオスにおける保健衛生活動の支援」

私達のクラブは非常に小さなクラブですが、「クラブ創立の意志と思い」を各会員が認識しながら、特色のあるロータリー活動を行っています。誇れる活動の第一は「ラオスにおける保健衛生活動の支援」です。スタートはWCS分担金を拠

出した時で10年を迎えました。

きっかけは、長年ラオス北部で保健衛生教育活動をしていた現日赤看護大学講師・山本加奈子氏を支援したことです。

本活動は今後も国際奉仕の一環として続ける所存です。



摂津RC 「先天性免疫不全乳幼児救済プロジェクト」

摂津RCでは今までも様々な国際奉仕活動に取り組んでおりましたが、2013-14年度はグローバルグラント(GG)を活用し、遺伝子スクリーニング機器をトルコ・アンカラ大学へ贈呈致しました。免疫不全を乳幼児の段階でスクリーニングすることで、発症する前に治療を行えば、90%を超える成功結

果が得られます。

第2660地区DDF\$26,450、第2430地区(アンカラ)\$3,050、摂津・ガジオスマンパサ各クラブで\$3,000づつとWFを合わせ、\$68,000(約700万円)の大型プロジェクトが完了し、トルコのより多くの医療関係者が適切な診断を行われることを祈念いたします。



吹田RC 「新地区補助金を活用した人道的支援活動」

ミャンマーの2つの村に、きれいな飲料水を提供する井戸を1基と衛生的なトイレ40基を設置し、住民の病気予防と衛生状態の改善を通じて健康に対する意識を高めることが目的です。

15年前現地のNGOを活用し、

小学校へ145基の井戸と2基のモーター式深井戸を設置、一年の調査研究の上、新地区補助金を活用し、きれいな水に衛生的なトイレを加え支援活動を行っている。



吹田江坂RC 「新世代奉仕」

2006年春のライラのホスト、関西大学RACの立上げ、提唱クラブとなり、3年前にはニコニコキャンプのホストをさせて頂きました。この9年間で地区青少年活動委員会に連続して出向、内2名の委員長を輩出しております。職業奉仕委員会も地元の小学校に出前授業を行って7年目を迎えます。次世代を担う子ども達に

将来、仕事の選択のヒントになるのではないのでしょうか。今後共、新世代奉仕を軸に活動して行きたいと思っております。又、関西大学RACを卒業したメンバーが他RACに再入会し活躍しており、提唱を続けて参りたいと思っておりますが、資金面を含め幾多の困難が予測されます。ご理解の上、地区のご協力もお願い致します。



吹田西RC 「地元小学校へのバスケットゴール一式寄贈」

今年度の社会奉仕事業は、地元の小学校の校長先生から体育館の耐震化工事に伴い、バスケットゴールの片方が撤去され大変困っている、という要請を受け、クラブ内で検討の上、地区補助金を活用しゴール一式を寄贈しました。

寄贈式では、児童たちとフリースローの対抗試合を行ない、児童たち若い世代の役に立てた事への喜びを噛み締めながら、さわやかな汗をかく事ができました。

今後も地元地域への奉仕活動を大切に考え、継続活動します。



高槻RC 「60周年記念継続事業について」

5年間の継続事業の初年度として、地域社会を発展させる。次世代リーダーの育成・支援を行うため、市内高校の吹奏楽部部員を対象に日本の吹奏楽界で著名な指導者である丸谷明夫氏を講師に合同練習会を予定。それにより音楽のすばらしさを再認識し、人とコミュニケーションを図る事の大切さを学ぶ場とし、特に中学

生との連携において、良きリーダーシップを発揮できることをねらいとします。平成27年2月8日に高槻現代劇場大ホールにて300名の学生参加、丸谷氏指揮による合同合奏を予定しており、また当日は高槻ロータリーデーとして、ロータリー、学校関係者はじめ、多数の鑑賞者と共に音楽の素晴らしさを共有したいと思っております。



高槻東RC 「ロータリーデー開催」

当クラブは平成26年9月23日、高槻現代劇場において、20周年を迎えた演劇同好会「はぐるま座」を中心に、保育園や小学校の「子供太鼓」、三味線や踊りの会にもご参加いただき、ロータリーデー「高槻夢の懸け橋・手に手つないで作る

友の輪」を、開催しました。

出演者を含め700名を超える方々にご来場いただき、「はぐるま座」は、十八番の「国定忠治」を公演し、盛会のうちに終わりました。



高槻西RC 「青少年交換プロジェクト」

高槻西RCはクラブ創立以来26年間、青少年交換を中心とした奉仕活動を行ってきました。

本年度は、7月にオーストリアからの学生10名を迎えて「オーストリア大学生日本視察・交流プログラム」in大阪を大阪北RCと共同して

主催し、日本の伝統文化や大阪の文化などに触れる機会と交流の場をもちました。

来年4月には、青少年交換来日学生および派遣学生を対象とした恒例の座禅・お茶会を予定しています。

